

お知らせ

†「わたしが与えるパンとは、……」

- ☆ 6月7日（日）キリストの聖体 ミサ中、子供の初聖体式・子供の祝福 ミサ後、教会委員会を行います。
- ☆ 6月12日（金）いつしみのチャプレット 15:00～
- ☆ 6月14日（日）年間第11主日 巡礼のため主日ミサは6月13日（土）19:00より行います。
- ☆ 6月18日（木）聖書勉強会 10:30～12:00
- ☆ 6月21日（日）年間第12主日 父の日 ミサ後、大楠教会信徒総会を行います。
- ☆ 6月28日（日）年間第13主日

- ☆ 女性の会 6月20日（土）黙想会 場所：大濠カトリック会館
- ☆ 誕生会について：今月に誕生日を祝う人は第3日曜日までに用紙に名前を書いて下さい。
- ☆ 門の開閉について、平日は防犯上、教会に出入りのたびに門を閉めていただくよう協力をお願いいたします。

朗読当番：



カトリック大楠教会ホームページ：<https://www.ogusu-catholic-church.com/>

6月の祈りの意向

教皇の意向：スポーツの価値

スポーツが、国家間や異文化間の平和、出会い、対話の道具となり、尊厳、連帯、個人の成長といった価値を高めるものとなりますように。

日本の教会の意向：教皇

教皇レオ14世のために祈ります。教会に与えられた牧者が、神の恵みに満たされて、教会と世界の善のために奉仕していくことができますように。

共同祈願：

1. キリストの聖体の秘跡を行うために油注がれたすべての司祭たちは、毎日の過越しの神秘を信仰を込めて行い、ご自分を完全に捧げられたキリストに倣い、人々の奉仕に尽くすことができますように。

キリストの聖体

皆さん、今日、教会は「キリストの聖体の祭日」を祝います。この日は、私たちの信仰生活の源泉であり頂点である御聖体にあらためて目を向け、感謝し賛美する日です。御聖体の祝日は、主イエス・キリストが私たちの救いのために御自身のいのちをささげられたことを記念し、その尊い愛と犠牲に感謝をささげる日でもあります。

主イエスは十字架の上で御自身をささげられる前に、私たちにかげがえのない贈り物を残してくださいました。それが御聖体です。

イエス様は十字架の前夜、最後の晩餐においてパンとぶどう酒を取り、「これはわたしのからだ」「これはわたしの血」と言って弟子たちにお与えになりました。

このとき主イエスは、御自身のいのちそのものを私たちの霊的な糧として残してくださいました。御聖体の神秘とはキリストが現実的に、そして実体的に今も御聖体のうちにおられるということです。ただの象徴ではありません。そこには、まことのキリストが生きておられるのです。これは私たちの信仰の核心です。

御聖体は、主イエスが成し遂げられた偉大な奇跡です。パンとぶどう酒がキリストの御体と御血へと変えられる神秘です。私たちはミサのたびに、この深い神秘にあずかっています。

ある日、それは教会学校のカテキズムの時間でした。初聖体を受けたばかりの子どもたちが集まっている中で、神父様が優しく問いかけました。

「みんな、御聖体をいただくと、どうなると思いますか。」

子どもたちは元気よく手を挙げました。

「イエス様が心の中に来ます。」「強くなります。」「いい子になれます。」「神様に近づきます。」

どれも素晴らしい答えでした。

神父様がうなずきながら聞いていると、一人の子どもが少し恥ずかしそうに小さな声で言いました。

「……溶けます。」

神父様は思わず聞き返しました。

「溶けるって、どういうことかな。」

その子は少し考えてから答えました。

「だって、御聖体を口に入れると溶けてなくなるでしょう。」

子どもらしい素直な答えでした。みんなは少し笑いましたが、神父様はその言葉を聞いた瞬間、深く心を打たれました。確かに御聖体は口の中で溶けます。しかし、本当に溶かされるべきなのは、私たち自身なのかもしれません。

「溶ける」という言葉には、信仰的に深い意味があります。

第一に、主のうちに溶け込むことです。

御聖体はただのパンではなく、キリスト御自身です。私たちが御聖体をいただくとき、主は私たちのうちに入り、私たちも主のうちに生きるようになります。主と深く結ばれ、一つになるのです。

イエス様は言われます。

「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしのうちにおり、わたしもその人のうちにいる。」(ヨハネ 6・56)

聖パウロはこう語っています。「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。」(ガラテヤの信徒への手紙』2章 20節)

第二に、かたくなな心が主の愛によって溶かされることです。

私たちは日々の生活の中で傷つき、疲れ、時には神にも人にも心を閉ざしてしまいます。人を許せない頑固さや、冷え切った心を抱えてしまうこともあります。しかし、御聖体において現存される主の愛に触れるとき、その愛は私たちの心を温め、癒やし、柔らかくしてくださいます。

第三に、「自分中心」から「神中心」へと変えられることです。

御聖体いただくとは、キリストと一つになることです。その交わりの中で、自分の欲や自己中心的な思いが少しずつ溶かされ、主の心に近づくように変えられていきます。

自分だけを大切にしようとするわがまま。神様よりも自分の考えを優先してしまう傲慢さ。そのようなものが、御聖体いただくたびに少しずつ溶かされていくのです。氷が太陽の光の中で静かに溶けていくように、私たちの冷えた固い心もキリストの愛によって温められ、柔らかくされていきます。

ですから、私たちは御聖体いただくたびに、こう祈りたいと思います。

「主よ、あなたの愛の中で私の固い心を溶かしてください。そして、あなたと一つになった私が、あなたの愛をこの世界に届ける者となれますように。」 アーメン。